

22 シラタエビ

(テナガエビ科)

兵庫県ランク:B

Exopalaemon orientis

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道函館以南に分布する。スジエビ類としては大型の部類に属し、体長70mm程度になる。河口域に生息する。体表に明瞭な模様はなく、透明に近い。額角は長く突出し、目の近くで幅広く広がりトサカ状になり、先端は斜め上を向く。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
△	○						○

県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、赤穂市、豊岡市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。県内での記録は加古川以西で、かつ記録数は非常に少ない。個体数の増減が比較的多いと考えられ、常年は個体数が少なく、卓越年のみに人目に触れている可能性がある。

保護上の留意点

県内での生息場所は河川河口域に限定されている。このため、排水の流入や河口堰建設など、河口域の人的攪乱が本種の生息にとって脅威となりうる。



写真提供：西宮市貝類館



写真提供：西宮市貝類館

【執筆者】 渡部哲也